

総務企画

| | |
|------|--|
| 委員長 | 宮川 吉男 |
| 副委員長 | 二木 攻 |
| 委員 | 竹田 良平 高野 哲郎 出戸 清克 円地 仁志 宮西 健吉 表靖二 |

■議案第46号 専決処分の承認を求めることについて
中 令和2年度 専決第7号 小松市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
感染症から市民の健康を守るため医療現場で治療等にあたる職員に対し、特殊勤務手当を支給するものです。手厚い支給を求める意見がありました。

■令和2年6月実施の小松市職員採用候補者試験申込状況について
看護師は採用予定10人に対し8人の応募でした。感染症により医療現場の負担が増しているため、追加募集が必要ではないかとの意見がありました。

■第2期こまつ創生戦略について
人口ビジョンの総人口の推移と将来展望、合計特殊出生率や社会動態を踏まえ作成しているということですが、感染症の影響もあるので人口推計等は現実と照らし合わせて行うよう求める意見がありました。

■小松市エール協力金について
感染症の対応にあたる医療従事者の支援、小中高校生対象のスポーツ等の大会開催等のため、ふるさと納税を活用し「小松市エール協力金」が創設されました。返礼品はありませんが、ふるさと納税の特例控除が適用されます。

■議案第48号 財産の取得について
高規格救急自動車1台を取得するものです。感染症対策として、オゾンガス発生装置、オゾン水生成器等を装備し、今年度中に納入見込みとのこと。

福祉文教

| | |
|------|---|
| 委員長 | 吉本 慎太郎 |
| 副委員長 | 岡山 晃宏 |
| 委員 | 吉田 寛治 新田 寛之 吉村 範明 橋本 米子 灰田 昌典 |

■議案第45号 小松市病院事業の設置並びに管理条例の一部を改正する条例について
「地域医療支援病院」の承認を受けたことから、非紹介患者初診加算料を変更するもので、紹介状が無い方については、診療費とは別に国が定める選定療養費が必要となるものです。

紹介状が無い方の個人負担額が増えることから十分周知・説明を行うよう求める意見や、地域のかかりつけ医についても、医師の確保について県等に働きかけを求める意見が出されました。

■避難行動要支援者名簿について
市では災害時に支援が必要な避難行動要支援者名簿を備えており、本人の同意があれば避難支援に関わる方に情報提供を行い、避難訓練や見守り等に役立てています。

災害時に避難支援に携わる方の負担軽減等のためにも、名簿の情報を有効に活用できる手段がないかを求める意見が出されました。

■請願第1号 「石川県における精神障害者の医療費助成について」
精神障害者保健福祉手帳1・2級を所持する方が、身体や知的障がい者と同様に障害者医療費助成の対象として受けられるよう要望するものです。

経済的に苦勞されている方々がいることや、昨年の県議会でも、同様の請願を満場一致で採択したことから、本委員会も趣旨に賛同し、全会一致で採択と決しました。

経済建設

| | |
|------|--|
| 委員長 | 南藤 陽一 |
| 副委員長 | 東 浩一 |
| 委員 | 木下 裕介 梅田 利和 片山 瞬次郎 川崎 順次 杉林 憲治 |

■議案第46号 専決処分の承認を求めることについて
中 令和2年度 専決第2号 所有権移転登記手続請求事件に係る訴えの提起について
平成27年の土地測量業務により、市宮木曾町住宅用地、市道用地内に個人名義の土地が存在することが判明したものです。当時の書類や法定相続人への調査を行いました。所有権移転未了となった原因は不明とのことでした。

平成28年より所有権移転交渉を続けてきましたが、事業の開始期限までに手続きが出来ないことから、今回専決処分による時効取得での訴えを行ったとのこと。

■第22回日本こども歌舞伎まつりin小松の開催について
「第22回日本こども歌舞伎まつりin小松」は新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年5月へ開催をもち越すとのこと。出演予定であった中学1年生役者については、希望を募った上で特別枠として受け入れを行い、今年の役者や長唄囃子方を取り上げた記念プログラムを作成するとのこと。

■新型コロナウイルス感染症経済対策について
キーディスタンス入場定員ハーフ作戦協力金は、座席数を半分以下に減らした事業者へ協力金を交付することです。事業者には安心シールを配布し、対策・対応を講じていると宣伝することが出来ること、取り組みが継続するよう期待するものです。

特別委員会 調査報告

小松基地・空港対策特別委員会

| | | | |
|------|-------|----|--------|
| 委員長 | 灰田 昌典 | 委員 | 新田 寛之 |
| 副委員長 | 梅田 利和 | | 片山 瞬次郎 |
| | | | 出戸 清克 |
| | | | 二木 攻 |
| | | | 川崎 順次 |

■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのこと。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高いことであることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

■小松飛行場周辺整備協議会について

令和2年度の小松飛行場周辺整備協議会総会において決定した新役員等についての報告がありました。

■空調復旧工事にかかる優先措置について

平成30年度から後期高齢者のみのご家庭等のエアコン取替え工事が早期に行うことができる優先措置制度が実施されており、今年度も受付が開始されたとのこと。

■小松空港定期路線の運航状況及びエアーミナルビルの運営状況等について

新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線の羽田便は1日1往復まで減らされていましたが、6月16日からは1日3往復の運航となったとの報告を受けました。

また、羽田便の復便に伴い、これまで閉店していたエアーミナルビル2階のお土産物店が時間を短縮しながら営業を6月15日から再開したとのこと。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、運航の停止が続いている国際線について情報提供するよう求めました。

人口問題対策調査特別委員会

| | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 宮川 吉男 | 委員 | 東 浩一 |
| 副委員長 | 竹田 良平 | | 南藤 陽一 |
| | | | 木下 裕介 |
| | | | 宮西 健吉 |
| | | | 橋本 米子 |

■小松市シルバー人材センターとの意見交換

高齢者の就業環境や働きがい・生きがい等について調査研究を行うため小松市シルバー人材センターと意見交換を行いました。

センターの現況として、会員数は今年3月末現在で998人(男性62・7%、女性37・3%)、平均年齢は73・1才、就業率は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していますが、契約件数や契約金額については前年に比べ増加しているとのことでした。

仕事の構成を見ると、木の剪定等の技能分野と草刈り等の軽作業の2つの分野だけで合計86・1%を占めています。

会員になられた方に入会した動機を伺ったところ、約8割の方が「健康増進と生きがい」等のために就労を希望されているとのことでした。「元気ではつらつとした高齢者を増やすため」には、生きがいを持つて生活することが大変重要であります。

意見交換の中で、女性が取り組みやすい職種を増やすことが、課題のひとつであり、増えれば多くの方の入会につながるのではないかと意見がありました。

委員からは、当センターのイメージを草刈り等軽作業等から、もっと専門的な業務も出来るイメージを加えることで受託業務の拡大、ひいては加入者の増加につながるのではないかという意見が出されました。

交流人口拡大に関する調査特別委員会

| | | | |
|------|-------|----|--------|
| 委員長 | 表 靖二 | 委員 | 岡山 晃宏 |
| 副委員長 | 吉村 範明 | | 吉田 寛治 |
| | | | 吉本 慎太郎 |
| | | | 円地 仁志 |
| | | | 杉林 憲治 |

新型コロナウイルス感染症は、多くの国々に広がり、小中学校の臨時休校、イベントの中止、不要不急の外出自粛等制限が求められました。当委員会でも、交流人口の拡大の検討のため、自粛後の国民の意識の変化等を見極める必要があり、情勢を勘案して進めたいと思います。

緊急事態宣言解除後も外出自粛が続き、旅行業をはじめ地域の産業に被害を与えていることから、国による需要喚起策「Go To キャンペーン」が実施されることになりました。県は、「泊まって応援！県民限定宿泊割」事業をスタートさせ、当市においても「Go Aroundこまつ」まちにお出かけしよう！等、地域の活力を取り戻す取り組みを行うていくとのこと。

また、粟津温泉を含む6つの温泉地において「加賀の国温泉博協議会」を発足し、加賀地域の広域的な誘客を進め、滞在型観光の推進に取り組んでいくとのこと。

本委員会は更に深く調査し、委員会の結論を得るため、4つの北陸新幹線開業に向けた調査項目を順に進めていきます。引き続き、並行在来線について調査研究を進めていきたいと考えています。

交流人口拡大のため、観光は欠かせない要素ですが、観光とは異なる切り口でスポーツ大会、コンベンション誘致等、検討する必要があるのではないかと意見がありました。

◆6月定例会の議決結果◆

■全会一致で議決された議案

| | 議案名 | 議決結果 |
|--------------------|--|------|
| 予算案 (4件) | 第40号 令和2年度小松市一般会計補正予算(第5号) | 可決 |
| | 第41号 令和2年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) | // |
| | 第42号 令和2年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第2号) | // |
| | 第47号 令和2年度小松市一般会計補正予算(第6号) | // |
| 条例案 (3件) | 第43号 小松市税条例等の一部を改正する条例について | // |
| | 第44号 小松市本社機能立地促進のための市税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第45号 小松市病院事業の設置並びに管理条例の一部を改正する条例について | // |
| その他議案 (4件) | 第46号 専決処分の承認を求めることについて | 承認 |
| | 第48号 財産の取得について | 可決 |
| | 第49号 固定資産評価審査委員会委員の選任について | 同意 |
| | 第50号 農業委員会委員の任命について | // |
| 請願(1件) | 第1号 石川県における精神障害者の医療費助成について | 採択 |
| 議員 提出議案 (2件) | 第7号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| | 第8号 医療提供体制のより一層の強化を求める意見書 | // |

※高野哲郎議長は採決には加わりません。

市議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会はどこでも傍聴できます。

本会議を傍聴される場合は、傍聴者席(低層棟4階)へお越し下さい。定員は椅子席80人、車椅子席2人です。傍聴の受け付けの際に、整理番号札をお受け取り下さい。

(※現在は新型コロナウイルス感染症対策として定員を20名にし、検温、マスク着用をお願いしています。)

委員会を傍聴される場合は、議会事務局(低層棟3階)へお越し下さい。定員は各5名です。

◆詳細につきましては、議会事務局(電話0761-24-8138)へお問い合わせ下さい。

予定 9月定例会の日程

※日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】 議会事務局 ☎0761-24-8138

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|---------|-------|----------------------------------|------------|---------------------|----|
| 8/30 | 8/31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 本会議(開会) | | 議会運営委員会 | | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 質疑・質問 | 質疑・質問 | 常任委員会(分科会) | 常任委員会(分科会) | 常任委員会(分科会) 特別委員会 | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | | | 予算決算常任委員会 総括質疑 各常任委員会(分科会) | | | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| | | | 予算決算 常任委員会 | | 議会運営委員会 本会議(閉会) | |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 10/1 | 2 | 3 |
| | | | 傍聴可能なもののみ記載 | | | |

8月31日には市長による提案説明、9月7・8日には市政に対する質問、9月25日には委員長報告等・採決が行われます。
小松市政について、活発な議論が行われますのでぜひご覧ください。



小松市
イメージキャラクター
カブッキー

☆議会傍聴 ☆テレビ小松 ☆ホームページ(議会生中継・録画配信)
<https://www.city.komatsu.lg.jp/citycouncil/index.html>

編集後記

議会だより編集委員会

委員長 南藤 陽一
副委員長 竹田 良平
委員 岡山 晃宏
東 浩一
吉田 寛治
吉村 範明



国内外はコロナ一色で、今年予定されていたオリンピックも甲子園もなくなり、企業もテレワークとなり、学校も休校が続き、世の中が大きく方向転換しました。大変な毎日の暮らしの中、行政というものは、市民の暮らしに頼りになる存在であるということを実感しました。

今後小松市でも災害が起こることが考えられます。毎日すごしている日々を当たり前と思わずに、油断せずに暮らしていかなければならないと思いました。このような中、市民にも行政に関心を持ってもらいたいと思いましたが、行政と市民が力を合わせないと乗り切れない時代がやってきたとも考えます。これまで以上に、市民に寄りそった市政が行われるように、私も頑張りたいと思います。(吉田 寛治)

ゆっくりでいいんだよ。あなたは、あなた。
のんびり とまり木において
とまり木 café
フリースクール
小松市八幡 103-1 TEL 090-8098-8031(山田)
見学・相談、随時受け付けています。

林 正勝税理士事務所
マツク株式会社
代表取締役 所長 税理士 林 正勝
副所長 税理士 広 田 隆 博
小松市御館町甲52 ☎(0761)22-1023 FAX(0761)24-5840

| | | | | | | |
|-----------------------------------|---|--|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--|
| 不動産鑑定士 澤矢豊伸 TEL0761-21-1122 | 中小企業診断士 社会保険労務士 竹内広幸 TEL0761-22-9990 | 税理士 行政書士 谷口勇一 TEL0761-76-5503 | 弁護士 杉本昌之 TEL0761-24-3633 | 弁護士 中西祐一 TEL076-256-5413 | 司法書士 三輪哲也 TEL0761-43-0848 | 土地家屋調査士 行政書士 山崎 豊 TEL0761-20-3175 |
|-----------------------------------|---|--|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--|

◆法律◆多重債務◆税金◆登記
◆年金◆会社設立◆相続 等のご相談をお気軽に【秘密厳守】
私たちが相談に応じます。

サポートネット 専門家による無料相談会
日時●8月22日(土) ●9月26日(土) ●10月17日(土) 9時~11時30分 会場●小松商工会議所